

第5回豊前市立学校再編成準備協議会 全体会 会議録(要点)

日 時	令和6年11月6日(木) 18:30 ~ 20:00
場 所	豊前市役所3階 大会議室
出席者	委 員 63名(欠席20名) ----- 事務局 7名 ----- 傍聴者 0名
	<p>1.開会 【省略】</p> <hr/> <p>2.教育長あいさつ 【省略】</p> <hr/> <p>3.会長あいさつ 【省略】</p> <hr/> <p>4.報告事項及び協議事項について (1) 総務部会 ≪報告事項≫ ○校章について 事前投票において選定された案を提示し、委員に確認。 ▶主な質疑、意見 ・校章については、今日決めてしまうのか? →今日は委員の意見を訊く場とし、部会で決定する際の参考にさせていただく。部会で決まり次第報告する。</p> <p>○校歌について 豊前蔵春学園の作詞は市内在住で、校名の由来となった「蔵春園」開設者の玄孫にあたる恒遠 俊輔(つねとお としすけ)氏に依頼する。 ▶主な質疑、意見 ・なし。</p> <p>○議案1 豊前中学校の校歌について ▶主な質疑、意見 ・歌詞が今の風潮に合っているか、言葉が正しいか、そういったことまで考慮した方がいいのではないか?議論を繰り返してしまわないよう、専門的な人に意見を伺った上で諮った方がいい。 ・部会にて歌詞についても十分考慮して検討をした。豊前市の出身者が想いを込めて作ってくれた歌詞なので、部会としてはこれを採用してはどうかとなった。</p>

→歌詞に出てくる言葉については一度確認をしてから総務部会に検討し、改めて全体会で諮りたい。

- ・昔の方の想いを受け継ぐことは大事なことだと思うが、例えば「純情一路」等の歌詞は今の中学生に歌わせるのは少し時代に合っていないように感じた。
- ・小学校と中学校の校歌に差が出すぎてしまうのではないか。やはり、時代に合っていない。校歌は魂に響くというか、ずっと心に残る思い出があるものである。今までの大人の想いもあるが、これからの豊前を支える子どもたちが主役であるので、もう一度皆で見直した方がいい。

▶決定事項

- ・言葉等に問題がないかを確認し、総務部会にて再度協議する。

(2) 通学部会

▶主な質疑、意見

- ・小学校の通学に際して、見守り隊は継続して立ってもらえるのか？
→継続をお願いするよう考えている。ただし、通学の範囲が変わってしまうので今後の審議事項となる。
- ・私自身、昔は5kmくらいの道を通学していたが、今は交通量も増えており状況が変わっている。2km以内の児童でも、せめて1～3年生はバス通学ができるよう検討してもらいたい。
- ・小学生の見守り活動に参加している。参加していて思うのは小学生では徒歩は1.5kmくらいが限度じゃないか。2kmも毎日歩くのは心が折れてしまいそうである。
- ・通学路の危険箇所について、資料に載っていないところは追加で要望可能か？
→全体会終了後に詳細を伺う。
- ・スクールバスは出発時間が決まっているのか？
→時間割等が決まっていないので詳細な時間は決まっていないがその予定である。
- ・もしバスの出発時間に遅れた場合はどうなるのか？
→まだ詳細については協議していないが、他市町村の事例を見ても、一人を待つと皆が遅刻することになるので待つのは難しいと考えている。遅れた子への対策も何か考えないといけないと思うが、個人的に対応することも難しいため今後の検討とする。

(3) 制服・PTA 部会

▶主な質疑、意見

- ・資料にて標準服のおおよその金額が掲載されているが、夏服等も含めた一式でどれぐらいの金額になるか、具体的に教えてほしい。
→12月に入ったら採寸を開始するので、11月中旬くらいに販売店から具体的な案内が6年生の保護者に届くと思われる。その中に詳細な金額が書いてあるが、夏服についてはこれまでも販売店によって金額が載っていないこともあった。事務局としておおよその値段は把握しているが、販売店と業者との協議で販売価格が決まるのでこの場での回答は控えさせていただきたい。

・標準服は高額なものなので、購入が厳しい方への補助はあるか？今まではお下がりに対応できていたと思うが。

→（補助金はないと回答したが、後に以下のとおり訂正）

→新入学の低所得者向けに入学準備金を支給する制度がある。制服だけではなくカバン等の購入に使える補助金なので、そちらを利用してもらいたい。

（４）施設部会

事務局より建設に係る事業費について説明。

▶主な質疑、意見

・なし。

（５）教育部会

▶主な質疑、意見

・なし。

（６）その他

○制服および体操服に関する広報について

▶主な質疑、意見

・なし。

○学校再編成に伴う児童・生徒の交流について

▶主な質疑、意見

・この表のとおりでは回数が少なすぎる。年に１、２回会っただけでは仲良くなれるとは思えない。学校だけでなくスポーツ推進委員でも交流会は可能である。実際にレクリエーションを通して相手を知れるので、どういった交流会を行う予定なのか知りたい。また、子どもを持つ親の意見を聞いて充実した交流会を開催してもらいたいと思う。

→内容については、交流がしっかりと図れるグループエンカウンター等で互いを知っていけるものが良いと考えている。スポーツ推進委員の話も出たが、交流会をすると半日程度かかってしまい、授業の時数もあるため、学校だけでたくさん回数を行うことは難しい。限られた回数になってしまうことはご理解いただきたい。

回数を増やすことは難しいが一回一回の内容を工夫して効果あるものにすることが大事である。また、事前交流というものは子ども達が入学してから良い人間関係を作るためのお膳立てであると思っている。一番大切なことは、入学後の１学期の間に学校側がケアをして子ども達の不安を取り除き、この学校に来てよかった、この友達に会えてよかったと思ってもらえる学年経営だと思う。そこにスムーズにつなげるためのお膳立てが事前交流会の大事な目的だと考えている。

・角田地区は以前の事故が二度と起きないよう、風化してしまわないよう一生懸命取り組んでいる。子ども達だけでなく保護者も巻き込んだ交流会ができればいいと思う。

→社会体育、地域スポーツも活用して豊前市が一体となって取り組んでいきたい。

・入学後のスムーズな対応をしてくれると話があったが、先生以外にそういったケアをしてくれる方がいるといい。生徒数が多くなるのが悪い方向に働いて不登校になっている子が多いので。
→現在も色々な機関との連携を図っている。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、必要に応じて支援員を加配して対応しているところである。再編成後は特に手厚く対応していきたい。

5. 次回開催予定時期について

1月開催を予定。

6. 閉会